

学会による国際交流

学会の一つの重要な役割として、国際交流がある。自身の関心領域で実績を挙げている外国人と仲良くなって、より深く知識や経験を直接得たいと思うのはごく自然であり、逆に外国人からそう思われるようでありたいものだ。そのような個人的なつながりで生まれる交流や友人関係も楽しいが、学会同士の交流はきっかけ作りの一つとして意義深い。



4月、私は日本外科学会（JSS）と台湾外科学会の交流を目的に台北を訪問する機会を得た。今年のJSS定期学術集会は札幌での開催だったが、最終日の朝の会議を終えて早々に新千歳空港から羽田空港を経て、夕方現地入りした。そのまま会長招宴から参加したが、乾杯してひとしきり飲食した後、各国の代表者からの挨拶ということで、私もJSSを代表して軽くスピーチした。2時間がすぎて、そろそろ終了かと思っていたら、会長自らマイクを持って歌い出した。よく知らない台湾のヒット曲のようなのである。何組か台湾人が歌ったら、今度は日本チームで歌えと無茶ぶりされた。お前が日本人外科医のリーダーだからなんとかしろと。私は外科医のリーダーかもしれないが歌手ではないと断ったのだが、別の日本人に話を持って行って、坂本九の『上を向いて歩こう』をチームとして歌うことになってしまった。曲目は最初から決まっていたのかもしれない。翌日、日本の外科医教育について、特に肝胆膵外科医の技術継承と働き方改革について講演したが、台湾も同じような問題を抱えているとのことであった。5月にも日本肝癌研究会と台湾肝癌研究会の関係で再度台北に行ったが、welcome dinnerではやはりカラオケとなり、今度は千昌夫の『北国の春』を歌った。今まであまり経験がなかったが、台湾人は相当カラオケ好きのようである。

9月にはAmerican College of Surgeons（ACS）がある。例年、Japan nightと称し、情報交換会を実施しているが、日本からの学会参加者のみならず北米留学中の日本人やその上司（日本人以外）もくるので、総勢50～80人に達する。旧交を温めるだけでなく、新たに知己を得て留学先を発掘するようなこともあるらしい。また、特筆すべきはここ数年、ACSの現職ならびに過去のpresidentが参加してくれることだ。昨年は4人が参加し、他の支部も同じ日時、同じホテル内でパーティーを開いていたにもかかわらず、ほぼ最後まで付き合ってくれた。ありがたいことである。

本来、研究あるいは治療の成果が優れていれば、どこに行っても通用し国際的にも評価されるのだと思うが、現実にはそれほど単純でもない。外国人相手でも人間関係は重要である。そういう機会を提供するという意味で学会同士の交流も積極的に進めるべきであり、若手外科医にはうまく利用してもらいたいと思う。今や日本では避けられがちだが、飲みニケーションはまだまだ生きている。そういえば、来年台北に行く学会員にカラオケのことを引き継いでおかねば…。

（長谷川 潔）

顧問 今村正之 山崎洋次 幕内雅敏 名川弘一

亀岡信悟 國土典宏 幸田圭史 佐野 武

編集 長谷川 潔 船橋公彦 山下裕玄

臨床雑誌 外 科	第88巻 第8号（8月号）	2026年8月1日発行（1114号）
編集兼発行者	東京都文京区本郷三丁目42番6号	小 立 健 太
印刷所	東京都千代田区飯田橋二丁目7番3号	日経印刷株式会社

発行所 ☎ 113-8410 東京都文京区本郷三丁目42-6（営業）TEL 03-3811-7239：振替口座 00120-1-149 番
株式会社 南江堂 （編集）TEL 03-3811-7619 FAX 03-3811-8660 <https://www.nankodo.co.jp/>

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物の利用に関する原著者の権利は、株式会社南江堂が保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

広告申込所：☎ 113-0033 東京都文京区本郷5丁目24番6号本郷大原ビル6階 文京メディカル TEL 03-3817-8036